

大阪広報2014-081

2014年9月22日

## ラリー競技における救急活動訓練実施！

～モータースポーツ審判員のスキルアップを図る～

JAF（一般社団法人日本自動車連盟）は、紙谷孝則氏（全日本ラリー選手権第1戦医師団長）他2名の講師の協力のもと、9月21日（日）に京都工芸繊維大学（京都市左京区）において、ラリー競技でのレスキューマーシャルのスキルアップを目的に救急活動訓練を開催し、約60名のラリー競技関係者等が受講しました。

内容は、ラリー競技中の事故により負傷したドライバーを救出する訓練で、4月に佐賀県唐津市で第1回目が行われ、今回は2回目となります。

訓練には実際に競技出場している車両2台を使用し、グループに分かれ、1台は装具を使用してチームで、もう1台は1人で救出する、という2種類の訓練を行いました。



【K.E.D（頸椎固定救出装具）を使用した救出訓練】



【毛布を使用した緊急救出訓練】

救出のポイントは、頸椎（首の骨）と脊椎（背骨）を固定し、事故でダメージを受けた身体にさらにダメージを与えないことが重要です。

危険が伴うモータースポーツでは、規則についても安全を最重視したうえで作成され、安全装備も日々進歩しています。

JAFは国内はもとより、タイ王国でも救出訓練講習を開催し、国際的なモータースポーツの振興に努めています。

●このリリースに関するお問合せは、JAF大阪支部(担当:長谷川・宿利)まで

TEL 072-645-1300(月～金 9:00～17:30)